



平成23年1月13日

「防災とボランティア週間」の実施について

平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災では、全国各地から多くのボランティアが駆けつけ、被災者の様々な支援を行うなど、ボランティア活動の重要性が広く社会に認識されました。同年12月には、防災ボランティア活動への理解を深めるため、毎年、阪神・淡路大震災が発生した1月17日を「防災とボランティアの日」、1月15日から21日を「防災とボランティア週間」とすることが定められました。

東京消防庁では、「防災とボランティア週間」中に、各消防署において防災に関する訓練や行事等を実施します。この訓練や行事等には、当庁が育成している「東京消防庁災害時支援ボランティア」をはじめ、消防団、地域住民及び事業所等に積極的に参加を呼びかけ、地域防災力の一層の向上に努めます。

1 実施期間

平成23年1月15日（土）から同年1月21日（金）までの「防災とボランティア週間」を中心として実施します。（1月17日は「防災とボランティアの日」）

2 主な関連行事等

(1) 災害時支援ボランティア合同訓練

災害時支援ボランティアの活動技能向上のための実戦的な訓練を各消防署の災害時支援ボランティア代表者と合同で実施します。

ア 日時

平成23年1月22日（土） 9時45分から11時40分まで

イ 場所

東京消防庁第八消防方面訓練場 【立川市泉町1156番地の1】

詳細については、別添え1のとおりです。

(2) 第7回地域の防火防災功労賞の表彰式

自然災害の被害軽減や住宅火災等の未然防止等に係る都民、事業所等の地域における優れた取組み事例に対し、表彰するものです。

ア 日時

平成23年1月17日（月） 15時00分から16時15分まで

イ 場所

スクワール麴町5階「芙蓉」【千代田区麴町6-6】

詳細については、別添え2のとおりです。

3 重点事項

(1) 災害時支援ボランティアの活動技術の向上

災害時支援ボランティアは、震災等の大規模な災害時に消防隊の活動支援を行う専門ボランティアであることから、救助活動、消火活動等に関する活動力を一層強化するため、災害時支援ボランティア用救助資器材やD級可搬消防ポンプを活用し、消防隊と連携した実動訓練を各消防署で実施する。

また、平常時、災害時支援ボランティアは、地域の防火防災訓練や小中学生等に対する総合防災教育において指導者として活動する機会が増えていることから、防火防災指導技術の向上を図る。

(2) 都民の防災行動力の向上

地域の防災活動については、活発で継続的な活動を展開している地域がある一方、住民相互の関係の希薄化等により、防災市民組織の結成が難しい地域や防災訓練未体験者が半数を超える地域、防災市民組織員の高齢化等により組織そのものが形骸化している地域もあるなど、差が生じている。その結果、震災等の大規模災害時における地域防災力の低下が懸念されている。

このことから、東京消防庁管内の各消防署においては、区市町村、消防団、災害時支援ボランティア等と連携し、防災訓練への参加者・参加層の拡大のため、学校の保護者同士の集まりや、地域の祭り、商店街のイベントなどの機会を活用した防災訓練の実施など、地域住民が主体的に取り組めるような防災訓練を推進する。

「防災とボランティア週間」においても、町会・自治会、事業所、学校、各種コミュニティ等が連携した自主的かつ主体的な地域防災力を形成する活動や取組を推進する。

ア 地域と事業所との連携

災害発生時に人材や資器材を有する地元の事業所と町会・自治会が連携をとることは、被害軽減を図る上で重要である。

東京消防庁の各消防署では、事業所と町会・自治会との災害時応援協定の締結を推進している。また、既に応援協定を締結した事業所と町会・自治会については協定の実効性が高められるよう、合同で訓練等を実施することを働きかけ、訓練時には支援を行っている。

イ 災害時要援護者対策の推進

高齢者や身体の不自由な方などで災害時に手助けが必要な方（災害時要援護者）は、災害時、自力避難が難しく、避難が遅れることが考えられる。

東京消防庁では、災害時要援護者の防災行動力の向上とともに、災害時要援護者と町会・自治会等、近隣住民との協力体制づくりとして、「消防のふれあいネットワークづくり」を進めている。

ウ 家具類の転倒・落下防止対策の推進

近年発生した地震被害について、東京消防庁が現地調査を実施した結果では、屋内の負傷原因の約3～5割が家具類の転倒・落下によるもので、常に負傷原因のトップを示している。

このことから、家具類の転倒・落下防止対策については、「家具類の転倒・落下防止対策に関するQ&A集」、「家具類の転倒・落下防止対策ハンドブック」、「家具類の転倒・落下防止対策講習ビデオ」を有効活用し、都民への事前対策を推進する。

また、家具類の転倒・落下防止器具取付講習会を計画的に実施し、推進にあたっては、

消防団や災害時支援ボランティアと連携し、実施率を高めていくよう努める。

エ 総合防災教育の推進

東京消防庁では、地域全体の防災力を向上させるためには、さまざまな年代の方々に対して、それぞれ防災力を向上させる必要があるという観点から、従前から対象としていた町会・自治会、自主防災組織や事業所に加え、「地域の子どもたち」の防災行動力を向上させる取組みを進めている。幼児期から大学生までのそれぞれの発達段階に応じた防災行動力の到達目標を示し、学校の授業や関連する行事などを通じて、区市町村、消防団、災害時支援ボランティア等と連携した防災教育を推進する。

問い合わせ先

東京消防庁	3 2 1 2 - 2 1 1 1	(代表)
広報課報道係		内線 2346~2350
災害時支援ボランティア合同訓練関係		
防災課管理係		内線 3922 3927
地域の防火防災功労賞表彰式関係		
防災課管理係		内線 3922 3925

東京消防庁災害時支援ボランティア合同訓練の実施について

防災とボランティア週間の機会をとらえ、災害時支援ボランティアの活動技能の一層の向上を推進するため、各消防署に登録している災害時支援ボランティアによる実戦的な訓練を合同で実施します。

1 実施日時

平成23年1月22日（土） 9時45分から11時40分まで

2 集合場所

東京消防庁第八消防方面訓練場（立川市泉町1156番地の1）【別図参照】

3 実施内容

消防隊と連携した合同訓練（午前）

第八消防方面訓練場（屋外）において、震災時を想定した災害時支援ボランティアと消防隊が連携した実動訓練を行う。

主な訓練項目は、次のとおり

ア 署隊本部を想定した署隊との連携訓練

イ 倒壊家屋からの救助活動支援訓練

ウ 可搬消防ポンプを活用した消火訓練

4 訓練参加者等

(1) 災害時支援ボランティア

約100名

(2) 東京消防庁参加部隊

第八消防方面本部消防救助機動部隊（ハイパーレスキュー）、消防署ポンプ小隊等



5 取材時のお願い

(1) 取材をされる場合は、1月21日（金）13時00分までにご連絡をいただくとともに、当日は9時10分に立川防災館（3階）にお越しください。

(2) 自社腕章を着用してください。

6 その他

荒天時（積雪等）には、中止の場合もあります。

第 7 回 地 域 の 防 火 防 災 功 労 賞 表 彰 式 に つ い て ～ 地 域 の 優 れ た 防 災 に 関 す る 取 組 み を 表 彰 ～

東京消防庁では、平成 16 年 6 月に創設した「地域の防火防災功労賞制度」に基づき、管内の町会、自治会、事業所等の防火防災に関する取組みを募集していましたが、第 7 回目となる今回から、主催が公益財団法人東京防災救急協会となりました。

平成 22 年 8 月 31 日に学識経験者等から構成される選考委員会が開催され、消防署を通じて推薦のあった 166 事例の審査が行われた結果、優れた取組みを行っている 32 の団体が選ばれ、「防災とボランティア週間」中の平成 23 年 1 月 17 日に表彰式を行います。

1 選考結果

(1) 消防総監賞

ア 最優秀賞 3 団体

別表 1 のとおり

イ 優秀賞 6 団体

別表 2 のとおり

ウ 優良賞 12 団体

別表 3 のとおり

(2) 公益財団法人東京防災救急協会理事長賞 11 団体

別表 4 のとおり

2 表彰式

(1) 日時

平成 23 年 1 月 17 日（月） 15 時 00 分から 16 時 15 分まで

(2) 場所

スクワール麹町 5 階「芙蓉」

千代田区麹町 6-6

3 その他

優良事例については、防災シンポジウムで紹介する等、庁内外に推奨事例として広く紹介し、地域の防災力の向上を図っていきます。

4 取材時のお願い

(1) 表彰式関係

ア 取材をされる場合は、14 時 40 分にスクワール麹町 5 階「芙蓉」（受付）にお越しください。

イ 自社腕章を着用してください。

ウ 駐車場の用意がありませんので、ご了承ください。

(2) 各優良事例の取材を希望される場合は、問い合わせ先にご連絡ください。

別表 1

消防総監賞（最優秀賞）

団体名	事例名	所属
株式会社晴海コーポレーション	地域に根差した事業所の積極的な防火防災対策・活動	臨港
交和会消火隊	地域を守る女性消火隊	玉川
西尾久四丁目町会区民レスキュー隊	この町を守るのは誰だ!!	尾久

別表 2

消防総監賞（優秀賞）

団体名	事例名	所属
戸越二丁目区民消火隊	周辺の災害にも応援出場できる消火隊を目指して	荏原
谷中地区まちづくり協議会防災対策部会	防災まちづくりイベント	上野
東京都立足立新田高等学校	高校生の若い防災力による地域貢献	千住
東新小岩七丁目町会	水害想定～町会が救命ゴムボートで救出訓練～	本田
東金町三和自治会市民消火隊 東金町七・八丁目自治会市民消火隊 東金町半田自治会市民消火隊 東金町宮元自治会市民消火隊	消防団、災害時支援ボランティアと市民消火隊の連携	金町
都営聖ヶ丘一丁目アパート自治会	高齢者にやさしく災害に強いまちを目指して	多摩

別表 3

消防総監賞（優良賞）

団体名	事例名	所属
秋葉原東部町会連合会 福祉法人三井記念病院	連合町会と病院が一体となった防火防災体制の確立	神田
日本橋三丁目西町会	町会と企業の共助による地域防災力向上を目指して	日本橋
入新井四丁目町会	市民消火隊を核とした防火防災活動	大森
萩中町会	新たな防災資源の活用による発災対応型訓練	蒲田
石井戸会 妙法寺 竹の子の会	三者が築く防災の輪	成城

SYM三町会災害連合会	自主防災から自守防災へ	本郷
本郷五丁目町会	スタンドパイプを活用した消火活動	本郷
東京都立練馬工業高等学校	災害時支援ボランティアへの登録	練馬
墨田区立吾嬬第一中学校「吾嬬一中レンジャー隊」	中学生の防災チーム	向島
一之江上親交会	震災・水災から町を守れ～安全安心な町づくり～	江戸川
東恋ヶ窪六丁目自治会	「みどりと花に会おうまち」で心の通う地域防災	国分寺
新町地区連合自治防災会	みんなで支える緑と住みやすいまちづくり	国分寺

別表 4

公益財団法人東京防災救急協会理事長賞

団体名	事例名	所属
五友會	親から子へ～地域に根付いた防火防災の取組～	荏原
大東文化大学レスキューチーム	地域とともに活動するレスキューチーム	志村
上久保町会	ミニ防災井戸を活用した地域防災力の向上	石神井
アサヒ商店街振興組合	サマーフェスティバルで防災訓練	日本堤
江東区亀戸町会連合会	連合町会による相互共助体制の確立	城東
江東区立砂町中学校	中学生による防災アスリート育成訓練	城東
小菅西自治会	防災の輪を広めよう	本田
三鷹市井の頭地区住民協議会	住民の住民による住民のための活動	三鷹
府中市立府中第六小学校おやじの会	防災キャンプを中心に手作りの防災教育	府中
上石原まちづくり協議会	小学校地域を中心とした町の防災訓練	調布
東京都立田無工業高等学校	新たな地域防災の担い手！「奉仕の心」を持った高校生	西東京